

平成 24 年 11 月 15 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 24 年 11 月 15 日 (木曜日)

午後 1 時 45 分から午後 2 時 15 分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生 委 員 羽賀 友信 委 員 中村 美和
委 員 青柳 由美子 教育長 加藤 孝博

4 職務のため出席した者

教育部長	佐藤 伸吉	教育総務課長	若月 和浩
教育施設課長	安部 和則	学務課長	近藤 知彦
学校教育課長	田中 仁	子ども家庭課長	佐藤 正高
保育課長	栗林 洋子	中央公民館長	武樋 正隆
中央図書館長	品田 満	科学博物館	山屋 茂人
学校教育課主幹兼管理指導主事	関谷 祐二	学校教育課主幹兼管理指導主事	山田 修
学校教育課主幹兼管理指導主事	大矢 慎一		

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐	新沢 達史	教育総務課庶務係長	水内 智憲
教育総務課庶務係	大橋 悠子		

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 56 号	補正予算の要求について
3	第 57 号	指定管理者指定の申出について (長岡市立互尊文庫、西地域図書館、南地域図書館、北地域図書館、中之島地域図書館、寺泊地域図書館、栃尾地域図書館の指定管理者の指定)

7 会議の経過

(大橋委員長) これより教育委員会 11 月定例会を開会する。

◇日程第 1 会議録署名委員について

(大橋委員長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 44 条第 2 項の規定により、中村委員及び加藤委員を指名する。

◇日程第 2 議案第 56 号 補正予算の要求について

(大橋委員長) 日程第 2 議案第 56 号 補正予算の要求について を議題とする。事務局の説明を求める。

(佐藤子ども家庭課長) 12 月議会で要求する補正予算について説明する。歳出について、国・県補助金等返還金の過年度分を計上した。これらは、平成 23 年度に行った子ども手当やワクチン接種等の事業費の確定に伴う精算で国と県に交付金等を返還するものである。もう 1 つは予防接種事業費の増額要求である。このたび、ポリオ予防接種の制度改正があり、今年 9 月から不活化ワクチン、11 月からは 4 種混合ワクチンが導入された。ポリオワクチンはこれまでは生ワクチンだけであったが、それが廃止され不活化ワクチンが導入された。4 種混合ワクチンは既存の 3 種混合ワクチンに不活化ワクチンを加えた 4 種混合ワクチンが開発され導入されている。今回の補正では、既決予算の予防接種事業費が不足する分を増額するもの

である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

◇日程第3 議案第57号 指定管理者指定の申出について

(大橋委員長) 日程第3 議案第57号 指定管理者指定の申出について を議題とする。事務局の説明を求める。

(品田中央図書館長) 長岡市の図書館は、平成20年度から中央図書館を除く7つの地域図書館を指定管理制度で運営している。指定期間が終了する平成24年度以降も同様にこの指定管理制度で運営したい。このため、平成25年4月1日から平成30年3月31日までの指定管理者を指定するに当たり、地方自治法の規定により、長岡市議会の承認を得ることになっているので、市長に対して本年12月の市議会にこの指定管理者の指定に係る議案の提出を申し出る。今回の指定は、互尊文庫、西地域図書館、南地域図書館、北地域図書館の4つの館は4年前と同様に館ごとの指定をしたい。また、長岡市の文化センターに併設している中之島地域図書館、寺泊地域図書館、栃尾地域図書館の3つの館については、図書館業務と文化センター業務の効率的運用を図るため、併設施設も一括して指定をしたい。指定する団体については、互尊文庫、西地域図書館、南地域図書館、北地域図書館の4つの館は従前と同じく株式会社図書館流通センターを、また、文化センターと併設している中之島地域図書館、寺泊地域図書館、栃尾地域図書館の3館は従前と同じくNKS・TRC共同事業体を指定する。NKSとは新潟管財サービス、TRCとは図書館流通センターのジョイントベンチャーのことである。指定期間はいずれも平成25年4月1日から平成30年3月31日までの5年間である。この指定に当たり、本年8月に今後5年間の受託をする事業体を募集し、その結果それぞれ1社のみ応募が

あった。9月に応募事業者からのプレゼンテーションを行い、10月の長岡市文化施設指定管理者選定委員会で選定された優先候補者が中央図書館と協議をし、指定に問題がないと判断されたので今回指定した。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

(大橋委員長) 本日の日程は終了する。次に協議報告事項に入る。報告事項として、第11回いきいき教育推進懇談会について、事務局の説明を求める。

(田中学校教育課長) 今年で11回目を迎えた長岡市教育委員会と長岡市PTA連合会共催事業の「いきいき教育推進懇談会」では、今年は市P連と協議の結果、学校や家庭、地域で今一番の関心事である「いじめ」をテーマにとりあげる。情報提供とシンポジウムの2部構成で、前段ではいじめの定義や長岡市のいじめの現状と対応などについて学校教育課から情報提供する。後段ではシンポジウム形式で学校教育課、保護者、教師、専門家を交え、それぞれの立場からいじめの取り組みについて発言いただく。コーディネーターがそれぞれの立場の取り組みなどを引き出しながら、学校・家庭・地域が連携していじめに取り組んでいこうという気運を醸成したい。日時は12月9日、日曜日の午後1時30分から、会場は長岡リリックホールシアターである。多くの皆さんからご来場いただきたい。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) シンポジウムのコーディネーターと専門家について聞かせてほしい。

(田中学校教育課長) コーディネーターは学校教育課の指導主事、専門家は元少年サポートセンター長の高森美紀子さんである。

(大橋委員長) 教師代表というのは小学校と中学校から出すのか。

(田中学校教育課長) そのとおりである。

(佐藤教育部長) いきいき教育推進懇談会については毎年、学校・家庭・地域の連携方策として同じようなテーマでやってきた。今回はどのようなテーマが良いか市P連と相談したところ、大津市のいじめ自殺の問題等で保護者からの関心が高い、いじめをテーマとして提案された。このため、学校教育課でも長岡市のいじめについて隠すことなく、何が問題なのか、学校はどのような対応をしているのか、実態をきちんと伝えたいと情報提供する。その後のシンポジウムでは、専門家の意見を聞き、保護者と教師がそれぞれの立場で考えていることを引き出しながら良いシンポジウムにしたいと考えている。保護者には、いじめの本当の問題、長岡市の学校が隠蔽をしていないこと、実際に現場ではどのように対応しているかを知ってほしい。保護者の考えも引き出したいし、会場のお客様とも意見交換してシンポジウムを進めていきたい。

(中村委員) 市P連と相談したのは大変良いことである。PTAの方々には大いに出席してほしい。シンポジウムでは指導主事がコーディネーターを務めるようだが、自分は教育委員になって初めて指導主事を知った。一般のPTAは指導主事に接触する機会がないので、どのようなことをしているのか自己紹介をしてもらおうとより良いと思う。

(佐藤教育部長) 指導主事の仕事が多く保護者に分かるように工夫したい。今回の指導主事は学校現場で教頭先生であった者が教育委員会に出向しているため、保護者には学校の先生が行政で仕事をしているということが分かるように方法を考えたい。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、質疑、意見なしと認める。次に白山保育園の移転開設について事務局の説明を求める。

(栗林保育課長) 白山保育園の移転開設について、保育の開始日は12月10日月曜日を予定している。新園舎は建物面積が約2.5倍に拡大、定員も現在の80名定員から130名定員へと50名増の約1.6倍となる。保育室を1室増設、子育て支援室、一時保育室、保育相談室を新設し、定員もサービスも拡充していく。平成23年度、24年度の2か年の継続事業がこれで完了する。総事業費は約5億4千6

百万円である。なお、保育開始日は12月10日だが、子育て支援室と一時保育室等は平成25年度からのスタートとなる。式典は12月1日土曜日に地域の方を対象とした一般見学会を予定しており、支所を通じて案内を出している。12月15日土曜日には新しい園舎でのオープニングセレモニーを計画しており、日頃の保育の様子と新園舎を見ていただく。教育委員の方々にもお知らせするので御出席いただきたい。なお、現白山保育園は新しい園舎に移るため無人になる。現園舎は、平成25年度に来迎寺保育園が4月から11月に大規模改修を行う予定なので、その間の仮園舎として活用する。その大規模改修完了後に現園舎は取り壊す予定である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、質疑、意見なしと認める。次に優良公民館の受賞について事務局の説明を求める。

(武樋中央公民館長) このたび、長岡市中央公民館が文部科学大臣による第65回優良公民館表彰を受賞した。この優良公民館表彰というのは、全国の公民館の中で特に事業内容や方法等に工夫を凝らし、地域住民の学習活動に大きく貢献していると認められる公民館を毎年表彰しているものである。11月13日に文部科学省の講堂で表彰式が行われた。長岡市の特色ある事業として、「長岡市生涯学習推進大学」を2年継続の講座で行っている。これまで第4期が終わり、今年4月からは第5期目となる。この講座は、単に学びの場としてさまざまな講座を開くだけでなく、地域における指導者の養成のために実施しているものであり、この大学で学んだことを地域での活動に生かしてもらおう。例えば、コミュニティセンターや支所地域、地区の公民館での企画や運営、支援をしてもらおう。今年度の第5期については58人が受講している。1年間で15回、2年間で30回の講座であり、この講座を修了すると各地域の生涯学習推進員として委嘱し、地元での活動のコーディネーター役となってもらおう。なお、今までの優良公民館表彰は比較的地区公民館での単発講座や教室についての表彰が多かったが、長岡市の場合は、循環型生涯学習社会の形成という、指導者を育成して自分たちの学んだものを還元し、次の人材を育てることを評価されたものである。また、13日の表彰式では優良公民館表彰のほかに、社会教育功労者表彰、高等学校PTA表彰があった。社会教育功労者表彰は、今年3月

まで長岡市社会教育委員長を務めた片桐義則氏が表彰された。今回の優良公民館表彰は全国の 57 団体、社会教育功労表彰は 108 名、P T A 表彰は 30 件程あったが、被表彰者の全体の代表として片桐氏が感謝の言葉を述べた。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。これで協議報告事項を終了する。

本日は、定例会の前に公立の富曾亀保育園、川崎保育園、また、私立のいなば保育園、宮内中央保育園を訪問した。その意見、感想は、引き続き開催する教育委員協議会で報告いただくこととする。

(大橋委員長) これをもって本日の定例会を終了する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員